

「越前市多文化共生推進プラン（第2次）（案）」に関する  
パブリック・コメント結果

案件名	越前市多文化共生推進プラン（第2次）（案）について						
実施期間	令和5年12月15日（金）～令和6年1月11日（木）まで						
趣旨	成31年3月に策定した「越前市多文化共生推進プラン」の計画期間が最終年度を迎えたことから、多文化共生を取り巻く時代の潮流や社会情勢の変化を踏まえ、新たな課題に対応し更なる多文化共生のまちづくりを推進するため、計画の改定を行います。						
意見提出者数 （件数）	3人（3件）						
	～40代	50代	60代	70代	80代～	未記入	合計
	1（1）	1（1）		1（1）			3（3）
意見に対する回答	以下のとおり						

No	年齢・年代	該当する箇所	意見の要旨（原文）	越前市の回答
1	50代 （日）	要望・意見	「やさしい日本語」は、外国人だけでなく、高齢者や障害のある方などにも有効な情報伝達手段です。 SDGsの「誰一人取り残さない」という観点からも、「やさしい日本語」を広めていただくことを要望します。	ご意見のとおり、「やさしい日本語」は、外国人をはじめ、小さな子どもや高齢者、障害のある方など、様々な方に配慮したコミュニケーション方法の一つです。 本プランにおいても、「やさしい日本語の普及促進」（施策No.10）を重点施策としており、今後も普及啓発に努めてまいります。
2	70代 （日）	要望・意見	アンケート結果によると、外国人の困りごととして「日本語ができないこと」を回答している外国人が多いように思います。外国人に日本語を教える支援ボランティアの確保（育成）に、今後も継続して取り組んでいただきたいです。	外国人市民の日本語学習を支援するボランティアの育成・確保は重要な課題と認識しております。 本プランにおいても「日本語教室の実施及び日本語サポーターの育成」（施策No.14）を重点施策としています。

様式第2号

3	40代 (外)	要望・意見	<p>地元の人々と交流できるような、食のイベントやスポーツイベントなどを開催してほしい。</p>	<p>本プラン改定のためのアンケートでも、「地域の祭り」や「食のイベント」に参加したいと回答した外国人市民の割合が高い結果となりました。</p> <p>外国人市民、日本人市民が一緒に参加できるようなイベントを開催し、地域での交流を促進してまいります。</p>
---	------------	-------	--	---

(日) 日本人 (外) 外国人